吉田後援会能　第十七回「花の能」

番　組

話
「弱法師と小鍛冶」
東京医科歯科大学教養部文学分野教授　木谷真紀子

仕舞
吉田　学史
吉田　潔司

菊慈童
花筐（クセ）

能
吉田　篤史

弱法師

間　茂山千之丞
橋本　光史
橋本　雅夫

狂言
茂山七五三　山下　守之
茂山あきら

後見　増田　浩紀

江崎欽次朗　河村　大
曽和　鼓堂　森田　保美

橋本　充基　橋本　忠樹
寺澤　拓海　寺澤　幸祐
山中　雅志　井上　裕久
宮本　茂樹　浦部　幸裕

仕舞
吉田　和史
吉浪　壽晃
橋本擴三郎
浦部　幸裕

雁礫

―　休憩　十五分　―

仕舞
橋本　忠樹
吉田　潔司
橋本　雅夫
深野　貴彦

百万（笹之段）

能
井上　裕久

小鍛冶

吉田　和史
岡　充
原　陸
石井　景之
吉阪　一郎
井上　敬介
左鴻　泰弘

間
鈴木　実
寺澤　幸祐
橋本擴三郎

橋本　充基　深野　貴彦
寺澤　拓海　橋本　光史
山中　雅志　吉浪　壽晃
宮本　茂樹　吉田　篤史

附祝言

終了　十六時半頃

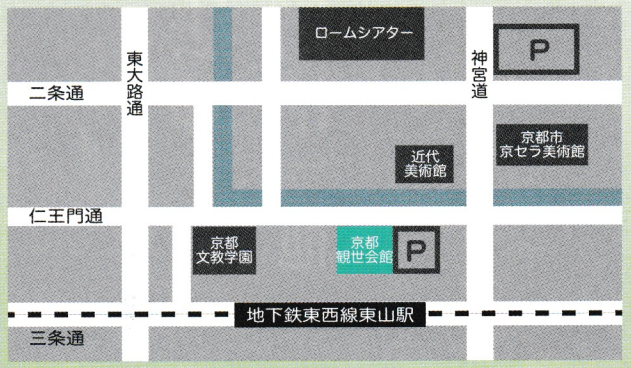
・・・あらすじ・・・

弱法師

河内国左衛門尉通俊は、一子俊徳丸を追い出したのだが、二世安楽の為天王寺で施行をしていたら、盲目となり弱法師と呼ばれている俊徳丸が現れる。通俊は我が子と気づき、夜まで待ち、親子は名告り合い、連れ立って帰る。

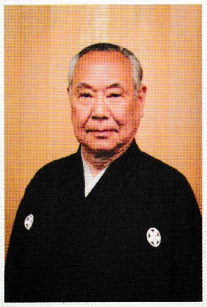
小鍛冶

勅使より御剣を打つよう命じられた三條の小鍛冶宗近の前に、一人の童子が現れ、御剣は成就すると語り、稲荷の山の方へと消え失せる。宗近が祝詞を捧げていると、稲荷明神が現れ相鎚を打ち、剣を小狐丸と名づけ、勅使に捧げ、再び稲荷山に帰る。



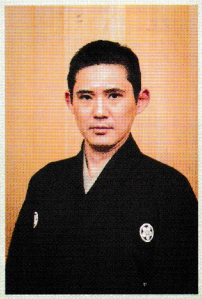
・市バス（JR 京都駅から）
５番または１００番に乗車「岡崎公園美術館・平安神宮前」下車
・市営地下鉄
地下鉄東西線「東山駅」下車

吉田潔司



シテ方　観世流準職分
重要無形文化財総合認定保持者
1942（昭和 17）年生まれ
・幼少より京都にて井上嘉介師、
父 吉田佳弘に師事。6 歳にて初舞台。
同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
・昭和 47 年に独立。石橋・乱・道成寺・砧・求塚・清経
恋之音取・正尊を開曲。
・吉田嘉謡社二代目社主として、平成４年より京都で「花の能」を自主公演するなどの演能活動の一方で、京都府各所（京都・向日）・広島県各所（尾道・鞆・福山）に稽古場を持ち、謡曲・仕舞の指導を行っている。

吉田篤史



シテ方　観世流準職分
重要無形文化財総合認定保持者
1974（昭和 49）年生まれ
・幼少より京都にて井上裕久師、父 潔司に師事。３歳「鞍馬天狗」花見にて初舞台。同志社香里中・高へ進学、同志社大学在学中に井上師の内弟子として修行。
・平成 13 年に準職分を取得し独立。石橋・乱・千歳・道成寺を開曲。
・平成４年より京都で「花の能」を公演するなどの演能活動の一方で、京都各所・岐阜各所・広島各所・東京・愛知・大阪に稽古場を持ち謡曲・仕舞の指導を行っている。（現、吉田嘉謡社三代目社主）
・平成 23 年に地元 向日市にて、ひまわり栄誉賞を受賞。

お客様へのお断りとご案内
◆テープ録音・ビデオ撮影はお断りします。◆事務局で許可した以外の方の写真撮影はお断りします。◆場内は携帯電話等の呼び出し音はお切りください。◆都合により出演者に変更がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。◆東隣に有料駐車場（２０台程度）があります。満車の場合は通路左寄り（数台・有料）または、岡崎公園地下駐車場をご利用ください。◆当日配布するパンフレットにあらすじをコミックにて掲載しておりますので鑑賞の手引きとしてご覧ください。

観能券ご希望の節は、郵便・電話・FAX、またはホームページ・E メールにてお申し込み下さい。

お申し込み先　吉田後援会

TEL& FAX 075-932-5066　FAX には本紙をご利用ください
Email mai-monchan@s6.dion.ne.jp
住所 〒617-0002 京都府向日市寺戸町山縄手 27–78
吉田後援会ホームページ http://www.hana-no-noh.com

お名前 ＿＿＿＿＿＿＿＿　前売券 学生券 ＿＿＿ 枚
ご住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿
お電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿